

令和6年度 胎内市観光活性化推進委員会 議事録

1 日時

令和6年2月27日（木）午後3時00分～

2 会場

胎内市役所 3階 301 会議室

3 出席委員

高橋晃会長、平川啓一副会長、橘信孝委員、須貝勝男委員、須貝建雄委員、久世俊介委員、森麻衣子委員、布川拓男委員、神田圭奈観光振興推進サポーター

4 会議次第

- (1) 第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況について
- (2) アクションプランの達成状況と見直し案について

5 会議経過

別紙のとおり

会議経過

1 開会

あいさつ（高橋会長）

2 議題（1）

○高橋会長

それでは要綱に基づきまして、しばらくの間私の方で進めさせていただきます。早速ではありますが、議題の（1）第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況につきまして事務局から説明をお願いいたします。

○事務局比企主任

（説明1）

○高橋会長

ただいま事務局から議題（1）、第2次胎内市観光振興ビジョンの達成状況につきまして説明がございました。ただいまの説明に対しまして、委員の皆様から質問はございませんでしょうか。はい、布川委員お願いします。

○布川委員

量的目標に関して、R4年度に比べるとトップに位置づけられるんですけども、補助金とか下駄履いている数値だとよくわかりました。結果的に今年度、色々な要因も取り払われた数字が出ると思うので、今期の数値は実力めいた数値というふうにとらえればいいのかしらね。

○事務局比企主任

令和6年度については、スキー場も営業できておりますが、逆に奥胎内ヒュッテが紅葉シーズンに営業できなかったこともあるので、若干、万全ではないのですが、R4に比べれば実態に即した数値になると思われます。

○布川委員

はい、わかりました。

○高橋会長

はい、よろしいでしょうか。他はございませんか。なんでも結構でございますがいかがでしょうか。

はい、布川委員。

○布川委員

この年号並びなんですけど、R表現しているこれを西暦表現にできないですか。

○事務局増子課長

次回からこれ、新たににしたいと思います。

○高橋会長

これは何かと連動してどうしてもRにしくちゃいけないという話はないのですか。

○事務局比企主任

一応、観光振興ビジョンが令和で数えていたので、それに沿った形なんですけど、逆に並記でもいいでしょうか。

○布川委員

並記のところもあるので並記でも。

○高橋会長

分かりやすいように、今せっかく委員の方からご意見をいただきましたので、次回以降は並記という形で表現をお願いできればと思います。

他はございませんか。最後一括して全体を通した中でのご意見をいただきたいと思いますので、とりあえず先に進めさせていただきます。

続きまして議題の（２）です。アクションプランの達成状況と見直し案につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局比企主任

（説明２）

○高橋会長

ただいま事務局から重点戦略の１、胎内の魅力を生かしたプログラムを創出するという事で、プロジェクト１から３まで説明がございました。皆様からご質問、ご意見はございませんか。

○久世委員

サイトのユニーク数 3,771 人に対して、プログラムの販売実績が 5,255 人、うち天文館の数値は直接。

○事務局比企主任

そうですね、はい。

○久世委員

2,000 人くらいということで、割と閲覧数に対してリアクションがすごくいいなという感じがしているのですが、これはリピーターの人が多い。

○事務局比企主任

観望会についてはおそらくそうだと思います。

○久世委員

それ以外に関しては。

○事務局比企主任

それ以外にはですね、ウェブページだけでなく市報に載せてそこからの申込みみたいなもの、市内の方ではありますが、いらっしゃいます。

○久世委員

分かりました。

○高橋会長

他はいかがですか。はい、布川委員お願いします。

○布川委員

５ページ、この下の実績人数が 5,255 人と目標にマッチアップしていますね。ところがこの売上、これが約半分ということはなぜかという疑問がある。人数は達成しているけど、金額は達成していない。端的に言うと、単価が安いのではないか、上げたかどうか。逆に言うと安いところに来ているのか。

○事務局比企主任

割とそうかもしれません。それこそ無料のものがあったり、ということもあるので。

○布川委員

見直してもいいのではないかと。無料はやめましょうよ。

○久世委員

横からではありますが、うちが乙の方で実施しているのは、基本的にはご自由にまわってください、という無料企画を出して、その分、乙でお金を落としてね、みたいな流れのプログラムがあたりするので、ゼロベース、無料というのは難しいなというところではあるんですけども。

○事務局比企主任

他でお金は落ちているということでしょうか。

○久世委員

そうです。他でお金が落ちていないのであればやらない。

○布川委員

新規プログラムという点でいくと、昨年から今年に渡って色々なチームがプログラムの企画発表しているんですね。具体的に言うと中条中学校が自分たちで企画して大人の力を借りてイベントを組んで色々やっている。昨年で3年目ですね。そういうこともありました。昨年の11月に、ここに久世さんいらっしゃいますけど、若手経営者の人たちが胎内市の観光客を300万人目指そうということで企画プログラムを8件作ったんですかね。こんな風な取り組みも、最近は新しい。

今年になって、中条高校、これ話を聞きに行って、何十もの企画プログラムを作っています。そのあと、2月14日、これ比企さんもいたけども、中条小学校4年生が自分たちの体験したこと、プログラムを色々作ってみんなに配っていました。2月21日には開志国際高校で、また自分たちの胎内市を学んで、胎内市の弱点を課題という風に言い換えて、色々な企画を作っているわけ。色々なチームが胎内市に貢献しようということでやっている、新しいものはないけども、色々な組み合わせをしてみんなに見せようという行動をしている、それが非常にいいと思ったので、ここからピックアップするんじゃなく、私にやらせてくださいみたいな募集をかけて、その方たちに主体的にやってもらって、あとは行政なりサポーターなり神田さんあたりにサポートしてもらって、あくまでもサポートという位置づけで。そういうのを何件かピックアップしたら新しいプログラムができるのかなと単純に思ったんですよ。

一番感動したのは、このチームね。色々なまちめぐりとか教えて発表してくれて、感心しながら聞いていたんだけど、これ以外にもあるけどとりあえず4点ピックアップしてみなさんに見てもらおうかなと持ってきました。ぜひ、行政としてもここからピックアップしてほしい。子どもを使う場合、卑怯だけど非常に楽しいんですよ。言い方悪いけど。以上です。

○高橋会長

はい、ありがとうございました。それではプロジェクト1から3まででいかがでしょうか。

○久世委員

今の布川さんの件に関して、そういう色々な取り組みをやっているのは市の方は承知はしているのでしょうか。

○事務局増子課長

はい、ご案内いただくものもありますし、今お話しの中では開志国際高校で発表したものについて

は、これは森さんが参加されましたでしょうかね、他の課が行っているところもあります。そこはできるだけ情報共有をしてやるようにはしております。

○高橋会長

せっかくそういう風に市民の中から、市民協働というかそういう観点でも色々なご意見が出ているということは、市の観光全体をみんなで盛り上げていこうよというような意識が醸成されてきているのかなというところもありますので、それはもう本当に大切にしなければならないことで、100%実行はできるとは思えないところもありますけども、その中でやった方がいいもの、やってもらった方がいいもの、取捨選択しながらですね、進めていければと思います。

はい、1から3よろしいですか。後からまた全体通した中でご意見を伺いますので、進めさせていただきます。それでは、プロジェクト4から6まで続けてお願いします。

○事務局比企主任

(説明3)

○高橋会長

はい、ただいま事務局からプロジェクトの4、5、6ということで説明いただきました。このところで皆さまから質問、ご意見を伺いますがいかがでしょうか。はい、布川委員お願いします。

○布川委員

せっかく表をつけてくれたので、表の6と7について教えてください。

まず表の6、改修工事一覧表なんですけども、胎内スキー場の中で令和5年度駐車場改修1件、5,600万。令和6年度駐車場改修工事5,500万。二度に渡って改修してるんですけど場所がどこか教えてほしい。場所と、改修とは何をやったのか。

○事務局齋藤係長

スキー場の正面のロッジの、正面右側の方、第一の方のところと、左側ちびゲレの前のところ、第二駐車場の部分を、令和5年度にやりました。打ち替えということで舗装を剥いで、舗装を打ち直したということを令和5年度と、令和6年度は第一の川合集落の前のあたりと、入口の方ですね。県道からロッジまでのところを令和6年度にしました。それも同じく打ち替えをさせていただきました。

○布川委員

これ2つ足すと1億何千万なんで、ほぼスキー場の売り上げ1年分をそこに〇〇したっていう理屈は通るのかって聞き方はおかしいけど。冬の3か月くらいしか使わないところに1億もぶちまけて、素人目にいかなものかなあなんて考えたんですけど。はい、余計なお話しなんですけどね。

○事務局齋藤係長

はい、このスキー場の方の事業も辺地債事業を活用させていただきまして、こちらにある令和5年度、令和6年度で、ロイヤル胎内パークホテル、スキー場の方、結構金額高いんですけど、これは辺地債ということで国からの借金なんですけど、後々交付税参入になるものを使わせていただいて。

○布川委員

いいです。次、資料7について教えてください。フルーツパーク運営事業は達成では二重丸になるんですけど、評価シートを見ると目的はやすらぎの憩いの場を提供するっていう、確かに観光的なうたい文句なんだけど、この二重丸の達成度を見るとぶどう1トンくらい作ろうとしているんだけど、約1トンくらい採れた、だから二重丸だという評価なんだけども、有り体に言うところ今度事業が、や

ったぞと打ち上げるべき事業なのかなと疑問あるんですけど。昔は確かに黒川フルーツパークって桃だりんごだぶどうだ梨だって、その頃のマジなパーク的な時は確かに憩いの場になったと思うんだけど、今は憩いも何もないよね。単にワイン用のぶどう作って収穫してるだけだから。それをもって観光に寄与してるっていう論理がよく分からない。

○高橋会長

そこのところは私からちょっと補足的にというか、確におっしゃる通りだと思います。たぶん作った時に項目残ってるというのは、本当に前はパークだったけども、要するにブルーベリーの摘み取りだとか、さくらんぼの摘み取りだとかいうような事業をやっていたので、その時は確かに観光だけでも、今は単純に加工用ぶどうにほぼほぼ特化したこととなっているためにですね、ここの部分は見直すべきだという風に考えます。観光から切り離して、ただ特産品としての加工用ぶどうからワインというところはありますけども、それはまあ直接観光ということではなくて、特産品を作るために基地としてここがございまして、ということでの意味合いになりますので。この辺りは観光というところからちょっと外した方がいいのかなという風に思います。

○布川委員

すみません、このついでに。その下のフラワーパークですけど、これの実態を見るとほぼ草取り作業ですね。草取りをしなくていい方法、例えば木質チップ、あれはもう草取りいらないんだってね。この二重丸の意味は何かといったら、3,000人くらいを誘客したいという希望値があってほぼそれが達成してたから二重丸だっていう、評価シート見るとそうなっているんですね。誰でも入っていけるのに、3,000人て誰がカウントしているのかなっていう素朴な疑問。

○事務局増子課長

そのカウントは職員がですね、会計任用職員さんなんですけど、そちらがおりましてですね、その方がまずカウントしていると。

○布川委員

私カウントされたことないよ。

○事務局増子課長

まあ、そういったことですね。

○布川委員

それはいいです。あそこに吊り橋ありますよね。去年見たら行ったらダメと、あれは今後どうする予定なんですか。

○事務局増子課長

今後はですね、あれはもう昭和61年に設置をした、40年近く経つようなものなんですけども、老朽化してしまっていて今は渡るのが危険だということで閉鎖をしております。今後は、設計を組んで、これから修繕するかどうかですね、そこでまず協議をしていくというような流れで今、担当課の方では考えているというようなことです。

○布川委員

あれ、PRポイントだったんだよね、昔はね。

○事務局増子課長

そうですね。そば処からフラワーに行って、さらには鉱物資料館、さらには昆虫の家を周ってという

コース、というところですね、活用したところがあったんですが。

○布川委員

まだ決まってないわけですね。

○高橋会長

少し補足させてください。かなり傷んでいまして、それで今議会で予算審査がこれから始まるので、あまり軽々に確実にやりますという話はちょっとできないんですけども、改修の設計業務委託を予算案としては載せてあります。ですので、ほぼ改修工事をするという方向で考えていますが、実施設計したときに果たしてどのくらいの金額が出てくるかというようなこともございまして、単年度でできるのか、それが令和8年度はちょっと難しくて9年度になるかというようなところがですね、まだそのあたりは具体的になっていない。ただ、設計だけはやりますよというのがほぼ確定的なところとなっております。胎内市といたしましても当然それは、今布川委員がおっしゃった通り、一つの、吊り橋というのは結構珍しいわけですし、また、あのエリアを結ぶ大切な動線の一つというふうには考えられますので、市としてもできれば早急に直して使えるようにしたいというふうに考えています。

○布川委員

最後に、あまり聞きたくないと思いますが、長池の展望台。設計やりました、どうするかはまだ決まっていますみたいなことが聞こえてくる。今の状態はそういうことなんですか、まだ決まっています、やめますとか。

○高橋会長

色々な課題があって、基本設計だけはやりました、金額的にもこのくらいかかります、というのは分かかったと。じゃあそれを作ったときに、どの程度の活用が見込めるのかとか、いうようなことについてはまだ確定的ではなくて、本当に長池のあの場所がいいのか。チューリップフェスティバルと、それから洋上風力の風車等の関係もあり、具体的にじゃあここに、いつ、どうしますというのは今、色々な課題を解決してから、実施するか否かも含めて決めていくという段階。布川さんがおっしゃったまだ分からないという、それとほぼ同じような状態です。

○布川委員

これもあまり聞きたくないと思いますが、そもそもこの計画時にですね、こんなものを計画しているんですけど皆さんいかがですかね、みたいな、この会議には諮るものだったんじゃないかなって私勝手に思うんですけど、そういうものじゃないんですか。

○高橋会長

今4億という数字は出て、初めて、これをやるとするとすれば大変な金額になるんだなあというところは出てきているわけで、これが例えば3,000万でできますというものであれば、この会議に諮ってどうのっていうことでもないと思うんですね。金額の多寡によるものでもないかもしれないけども、ただ一般的に言ったら、チューリップフェスティバルの時だけ見る展望台ぐらいの話であれば、そこまで皆さんにここでお諮りした中でというような話にならないと思うんですよ。

○布川委員

とは言ってもプロジェクト5っていうものの建前は、そういうものを検討するときには何しましうっていうプロジェクト5ですよ、あまり言いたくないけど。行政単独でやるっていうのはそれでいいんですけど、せっかくこういう会があるんだから。これ以上はぼやきだからやめますけども。

○高橋会長

そのほかはございませんか。布川さんはよろしいですか。他の皆さんはいかがでしょう。
なければ続きを進めさせていただきます。プロジェクトの7番、8番。お願いします。

○事務局比企主任

(説明3)

○高橋会長

はい、ただいまプロジェクト7番、8番につきまして説明がございました。皆様から質問、ご意見は
ございませんか。はい、久世委員お願いします。

○久世委員

だいぶ過去の話でデータを忘れてしまったということで質問なんですけど、くると胎内は春はあ
まり利用なかったですね。

○事務局比企主任

はい。令和4年度までは通年で運行しておったんですが、通年というか4月から12月まで。4月か
ら、令和4年度の各月ごとの平均でいうと、4月が4.3人、5月が6.2人、6月が6.8人、7月が3.9
人、8月が5.3人ということで、基本1日一桁の日が続いておったんですが、令和4年度10月が9.27
人で、11月が10.6人ということもあって、比較的10、11が乗られてるよということで、令和5年度
からは紅葉シーズンに絞った形で運行して、ある程度、常に10人上回るような形で運行が出来たので、
引き続き令和6という形って運行させていただいたような形です。

○久世委員

ありがとうございます。やっぱり秋の奥胎内のイメージが強いとかがある。やっぱり春って本当は
もっと千本桜とかチューリップフェスティバルもあるので、今思うともっと集客があってもよかった
んじゃないかなとふと思ったんですけど、それだけデータ出ちゃってるとなんとも言えない。

○事務局比企主任

客層的に4月から8月ごろまでは、ファミリー層など、割とマイカーで来られる方が多くいらっし
やるのかなというところで、ちょっと思ったんですが、紅葉シーズンは高齢の方も結構来られるので、
そういったところで運転に不安がある方が利用しているんじゃないかなと勝手に解釈はしていたんで
すけど。

○久世委員

分かりました。ありがとうございました。

○高橋会長

はい、他はいかがでしょう。ないようでございますので、続きましてプロジェクトの9、10とい
うことで事務局から説明をお願いします。

○事務局比企主任

(説明4)

○高橋会長

はい、ただいまプロジェクト9番、10番について説明がございました。この件についてはいかがで
しょうか。はい、布川委員お願いします。

○布川委員

19 ページの観光ボランティアの発掘育成って去年1回募集かけましたよね。確か市報か。あれはどうなりましたか。増えてないんだからいないんだろうね。

○事務局比企主任

その募集では申込みがなかったということだと思います。

○布川委員

そろそろ本気になって発掘育成しませんか。誰に言えばいいの。さっき言ったようにくどうもちやさんに参加してもらえばいいじゃん、ここにメンバーとして。そこから、事務局長の方からどんどん投げればいいわけでしょ、オファーを。さっき大事な話を言ったよね、比企さんが。様子を動画なり画像で撮って、こんな雰囲気ですと、楽しいですよ、そんなイメージをぜひ入れて発掘の手段にしてもらえばいいなと思って。俺のところに来いとは言っていないからね。

○事務局比企主任

ぜひ投稿させていただきます。

○布川委員

ということで、ひとつよろしくお願いします。

○事務局比企主任

はい。

○高橋会長

はい、ありがとうございます。それでは他に9番、10番につきましていかがですか。よろしいですか。はい、久世委員お願いします。

○久世委員

9、10に直接の関係あるか分からないんですけど、このちょっと前の時期になると板額会さんが合格祈願シールを配ったりとか、ちょっと教育がらみですけど色々やってらっしゃるじゃないですか。あれも正直観光といえば観光、あれをもらいによそから来てくれればそれはそれで充分観光だなと個人的には思っています。というのは、観光ってなにもひとつのジャンルに絞る必要はない分野だと思うので、さっき布川さんがおっしゃった通り、もうちょっと色々なジャンルな、その人たちが観光に携わっている意識がない中でも、結果的によそから人を呼んでいるという状況を作っているのであれば、その人たちもちゃんと観光やっているんですよということがイメージできるように、こういうメンバーとか含めてガイドっていうのはありなんじゃないかなと思います。ちょっと話を聞いてから思いました。

○高橋会長

はい、ありがとうございます。今あれは、道の駅と中条駅と2か所。乙宝寺もある。

○久世委員

乙宝寺も確かあったような、うちにはないです。

○高橋会長

確かにそれをもらいに行くってことはその観光地に行くってことだからね。そういうことも。

○須貝勝男委員

マンホールカードの人はお金使いませんが、合格シールもらう人は何か買って行く。ただもらうと心苦しいなという人が。

○高橋会長

はい、ありがとうございました。

それでは進めさせていただきます。よろしいですか。横断的取り組みということで、二つございますが、事務局をお願いします。

○事務局比企主任

(説明4)

○高橋会長

はい、横断的取り組みにつきまして今説明がありましたけども、この件に関しましてはいかがでしょうか。質問、ご意見はございますか。はい、布川委員をお願いします。

○布川委員

胎内リゾートに関しては社長がいらっしゃるので非常に申し上げにくいんですけども、せっかく資料があるのでお聞きしたいと思います。21 ページの再生に向けた各施設の経営改善計画の策定の中に、中長期の業績を策定して、年度ごとに重点取り組みを設定し月ごとの業績目標を設定していると。それに基づいて月次および週次の会議をやっていると、こう書いてあるんですけども、これは普通の事業所であれば普通にやっている話であって、中身が見えないんですよ。もっと言うとその中に各部門の従業員というか担当者というか、その人たちがどういう風に事業の中に関わっているのか、おっしゃられる範囲で教えていただきたい。

○高橋会長

取締役会議は月次でやっています、これは市長も含めて。あと、内部的に会議をやっているのも、その件については橋常務の方から説明させていただきます。

○橋委員

まず各部門ごとの売上数値というのは、各部門に当然責任者がおります。例えばホテルの中でも、例えば宿泊部門であったりレストランを統括する料理部門であったり、それぞれに責任者がいて、ホテルの中のそれぞれの部門で売上目標、売上だけじゃなくてその売上を達成するためのもちろんアクションプランですね、どうやって達成するのか。かなり細かく、月ごとに作成しております。リゾート全体を見ますと、ホテル以外にそば処みゆき庵、それから胎内スキー場、奥胎内ヒュッテ、それからフィッシングパークがございます。いま申し上げた中で、スキー場とヒュッテとフィッシングはアウトドア事業部というくくりでですね、この3つを統括する責任者がおります。この3つの施設に関しましては、3つの施設を統括する責任者が中心になって細かく数値目標を、主に売上になっていきますけども、立てております。ここ数字だけが載っておりますが、ものすごく細かく資料を作っております、毎週火曜日にそれぞれの責任者が集まって、その目標に対してどうなっているかというのを必ず報告確認をしております。こういった細かい月ごとの、ものすごい細かい売上、売上だけでなく経費がこれぐらいかかりそうだというのを落とし込んで、最終的に営業利益がこれぐらいだという目標を作って、それを毎週のミーティングで売上状況等を確認しながら、達成状況を確認しながら、もし達成できそうにない場合はどうやれば達成できるのか、ということですね、なかなか、このミーティングというのはその場で出席している他の部門責任者から色々意見とかこうやったらいいんじゃないとか、そういう協議をする場でもありますので、ただ報告だけではなくて、どうやったらさらに売上を向上できるのかという色々な改善点等、課題もちろんその場で色々出てきますけれど、どうやったらその課題を克服できるのかということを皆でとにかく意見を出しながら、進めております。

○布川委員

今お聞きした内容は部門長会議というのをやられるという風なイメージはできました。この部門長会議の結論なりやらねばないことを従業員にどういう風に落とし込んでいるかというのを聞きたかった。

○橘委員

その出席した部門長が必ずその職場に戻ったら、今日はこういう話があったということを必ず報告する、これは義務化されています。さらには、会議の資料というのをパソコンの中に共有フォルダというものを作っておりまして、出席する際にも事前に各部門から共有フォルダの中に資料を入れられているわけございまして、もちろん週次ミーティングでの内容の議事録等も終わった後には掲載しておりますので、社員であればパソコンの共有フォルダでいつでも見るできるようになっています。

○布川委員

途中ですみません。私がお聞きしたいのは、いわゆる一般の従業員、その人たちにいわゆる事業改善なり作業改善なり、改善提案なりそんな行動がなされる仕組みになっているのか。さっきの統括関係者の落とし込みが、従業員からこういうことをやればもう少しよく業績に繋がるとかね、そういうところを知りたかったです。それやっていらっしゃらないという結論であれば、ああそうですかと言いますけどね。

○橘委員

やっております。必ずミーティングの内容は各部門長が終わったら、その部門の中でこういう話があったということで、さらには色々な課題とか問題点があれば職場の中でも末端の従業員の人たちから色々意見を聞いて、次の翌週のミーティングに持ってきていただくと。

○布川委員

要は課題問題は、従業員全員が共有しているとそういうことですね。

○橘委員

そういうことです。

ちなみにこういった細かい数字もですね、実は社員であればいつでもパソコンの共有ファイルの中で、今売上とかがどういう風になっているとか、業績そのものを見られる。

○布川委員

分かりました。じゃあもう1件。これはお願いなんですけど、数値表が出てますけど、これは計画しかないんですか。いわゆる事業計画書の中の数値、これは今年度の数値であって、過去の遡った結末、仕上がりっていうのかな、そういうのは、前のプロジェクトっていうのは実績が出ていますけども、この事業計画書においては実績が出ていないので、どうなったかを知りたいので、次回からは前年度でもいいので実績を上げてもらおうとありがたいなと。

○高橋会長

これは議会に提出している年度初めに作った計画書、それだけをコピーしている。これと対応するものが決算書、事業報告及び決算書というのが、株主総会があるんだから6月の末頃になるのかな。それはありますが、たぶんそれよりも今、布川さんがおっしゃっているイメージというのは、計画に対してどこまで達成できたかというのが分かるような資料を添付してほしいということなので。

○布川委員

ここに計画書ってありますね。これの仕上がりが見れないわけですよ、過去も現在も。

○高橋会長

仕上がりというのはこれに対応する結果。

○布川委員

計画に対して。

○高橋会長

事業実績と決算ということですね。分かりました。

それだと出せないというか、見てもあまりピンとくるような。

○布川委員

頑張り以外はピンとくるんですよ。数字でしか分からない。

○高橋会長

これに全部対応しているんだっけ。

○事務局齋藤係長

決算は対応してませんので、はい。

○高橋会長

これに対応したようなやつでいいんですよ。

○布川委員

これでいいんですよ。プロジェクト 10 まではこれに対して実績が全部出ている。

○事務局齋藤係長

分かりました。すみません、今 6 年度の事業計画書が出ていますので、5 年度、4 年度であれば実績も出せます。

○布川委員

逆に言うとこれがなかったら私騒がないですよ。

○高橋会長

この結果が出るわけだから、それを表すことができる。分かりました。

横断的のところまで行きましたが、他には横断的などところでございませんか。なければ、今日の議題となったところで、全体を通して言い忘れたとか聞き忘れたとかございますか。

はい、ないようですので、それでは今日の議題にとらわれずにその他で、せっかくの機会なのでここでここを聞きたいとかこういう意見があるとかいうところはいかがでしょうか。

○布川委員

これ昔の話なんですけど、もう委員会を年に 2 回ぐらいやりましょうねと決めたというか、南波さん時代におっしゃってたんですよ。今、今日は 1 年 5 か月ぶりなんですね。多ければいいというものではないけども、いわゆる節目節目でやるべきじゃないのかなと思います。それ 1 点。

あと、今日名簿見たら 10 人なんですけど、当初は 12 人いたはずなんですね。12 人以下という決まりだからそれがどうしたって話にはなるんだけど、やっぱり人がいた方がいいよね。特に女性の方。二人とも女性の方、リタイアされたんでぜひ確保してください。

○事務局増子課長

それも検討させていただきます。

○高橋会長

ありがとうございました。他は、その他ございませんか。

はい。ないようですので、それでは本日の議題と質疑が終了しましたので、進行を事務局にお返し申し上げます。

○事務局増子課長

高橋会長、大変長時間ありがとうございました。それでは最後になりますが、平川副会長から本日の総括をお願いしたいと思います。

○平川副会長

皆さん、長い時間ご苦勞様でございました。総括をやるということなのですが、実際委員の皆様の方が、実際現場で色々と活動されていて私よりもずっと総括に向いていると思いますので、時間もあと3分ございますので、早めに終わるということで、これで終わりたいと思います。ありがとうございました。本当にお疲れさまでございました。

○事務局増子課長

ありがとうございました。本日いただいた議論を踏まえまして、今後の施策等に生かして参りたいと考えております。皆様、本日は長時間に渡りまして大変ありがとうございました。以上で令和6年度胎内市観光活性化推進委員会を終了いたします。大変ありがとうございました。